

## 福岡・JAみい「国際果実野菜年」サポーター



女性部と一緒に調理する生徒  
(福岡県小郡市で)

# 生徒と食の交流

【福岡・みい】JAの活動を始動した。第1弾はJA女性部と高みいが「国際果実野菜年2021」オフィシャルサポーターとして、校生による調理を通じた交流会。健康的な生

活を促進するため、参加者は果実や野菜を食べる重要性について理解を深めた。

国連は21年を「国際果実野菜年」と定め、バランスの良い健康的な食事の重要性を訴えている。オフィシャルサポーターは農水省が設けた制度で、JAとしては全国で初めてサポーターに認定された。

交流会は7月中旬にJA本店で開き、JA女性部と、福岡県立三井高校(小郡市)の家庭クラブ委員らが集まった。

双方が考えた素材を生かしたレシピを基に調理。女性部は「ズッキーニナポリタン」といふどりの小松菜ロール、家庭クラブは災害時でも食べられる「小松菜のパウンドケーキ」を作った。

試食会では、お互いの料理を食べながら果実や野菜の食べ方を紹介。交流を深めた。地元製の菓販売店のシェフも参加。パウンドケーキは小松菜とバナナがバランスよく、「商品化できる」と評価した。

JAは、今後もサポーター活動を積極的にを行い、幅広く健康づくりを推進する方針。